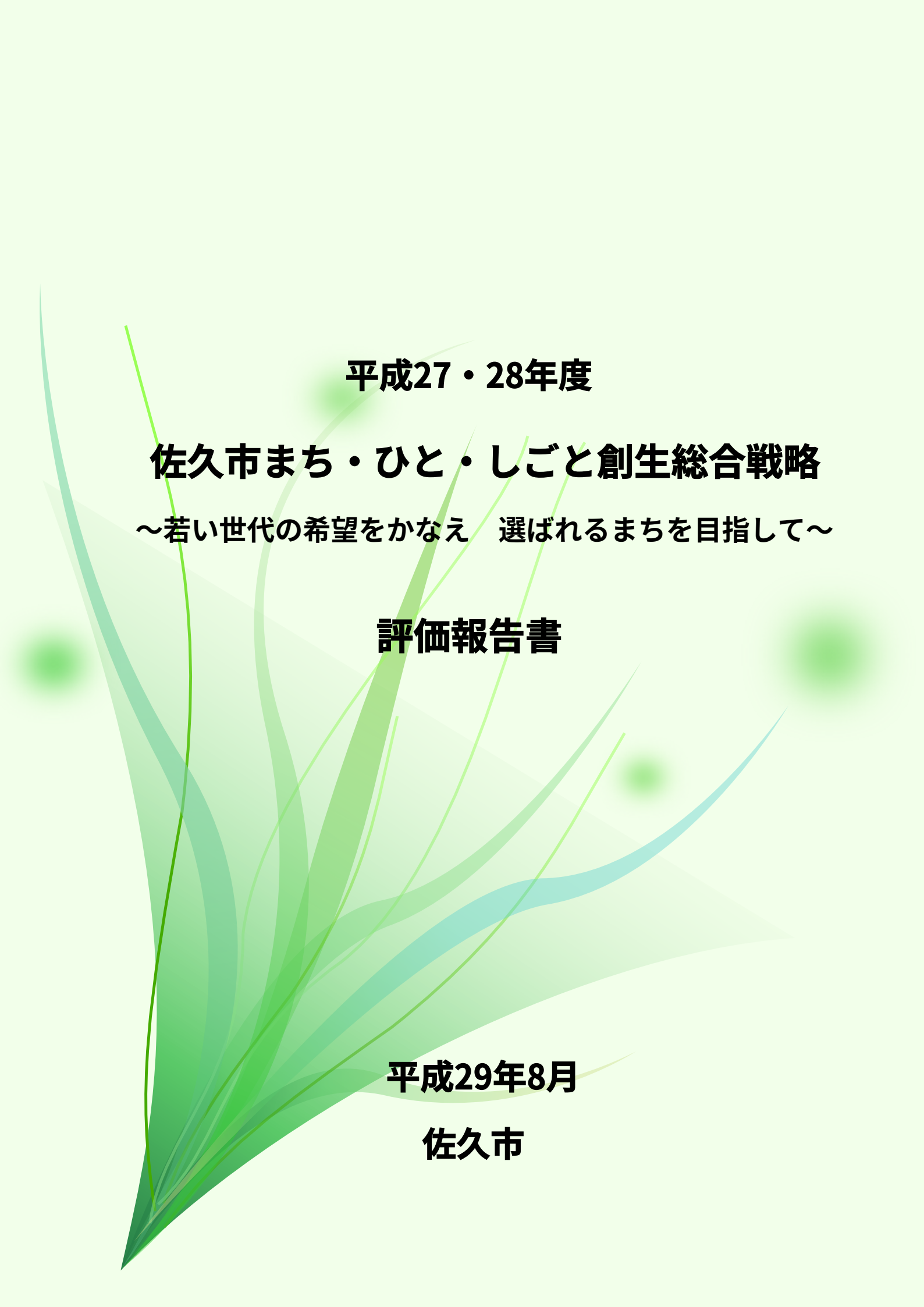


A stylized graphic of a plant with long, flowing green and blue leaves, positioned on the left side of the page. The leaves are layered and have a soft, ethereal quality, with some leaves curving upwards and others downwards. The colors range from light green to a deeper teal/blue.

平成27・28年度

佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略

～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～

評価報告書

平成29年8月

佐久市

目次

「佐久市人口ビジョン」の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要・・・・・・・・	2
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について・・・・・・・・	3
数値目標・重要業績評価指標（K P I）の評価	
基本目標①	
安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生・・	5
基本目標②	
多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生・・	13
基本目標③	
安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における	
「ひと」の創生・・・・・・・・・・・・・・・・	19
基本目標④	
安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生・・	30
地方創生関係交付金事業の実施結果・・・・・・・・	38

「佐久市人口ビジョン」の概要（H27.10 策定）

人口ビジョンの位置付け及び対象期間

- 1 本市における人口の現状を分析し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するもの
- 2 本市のまち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策の企画・立案をする上での重要な基礎
- 3 対象期間は、平成 27(2015)～平成 72(2060)年度

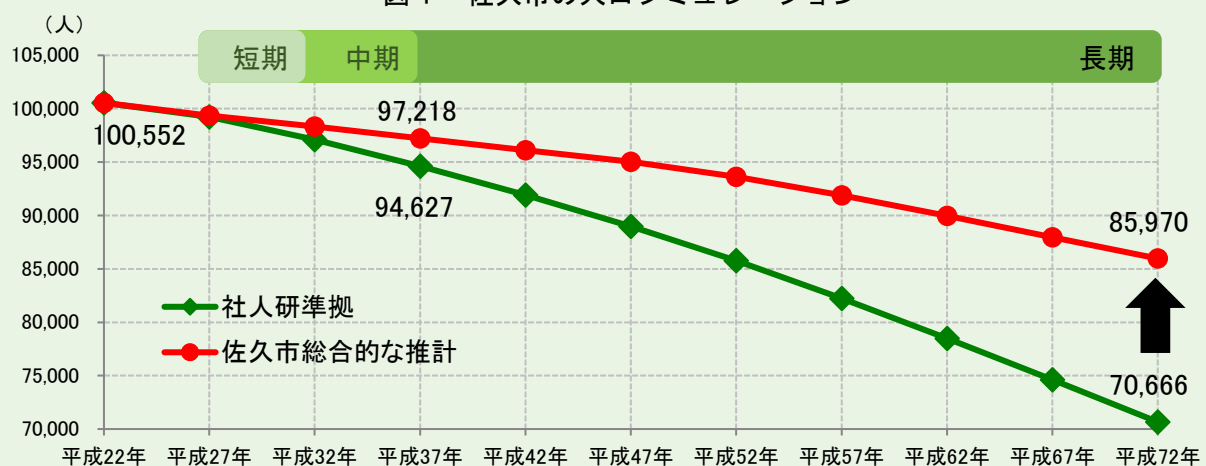
人口の現状及び将来推計

- 1 本市の総人口は、平成 22 年をピークに減少に転じ、平成 26 年 10 月 1 日現在の県人口異動調査では**約 99,600 人**
- 2 合計特殊出生率は、全国や県よりは高いが、ほぼ横ばいの状態が続いており、平成 26 年は **1.59**
- 3 社会動態を平成 22 年から平成 26 年の 5 年間の平均で見ると、**100 人/年の社会増**
- 4 国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の推計に準拠した推計では、今後、平成 52 年には人口は **86,000 人**を下回り、平成 72 年には **71,000 人**を下回る

人口の将来展望

- 1 市民アンケート結果による「理想とする子どもの数」の平均は 2.44 人であり、一定の施策を講じることにより、平成 47 年に合計特殊出生率 **2.07** を実現（国より 5 年早く実現）
- 2 現在の 100 人/年の人口の社会増を、平成 27～32 年までは倍の **200 人/年の社会増**とする
- 3 合計特殊出生率の改善による人口の自然増と移住促進等による社会増のさらなる増加により、平成 72 年の人口 **85,970 人**を長期的な展望とする（社人研推計より約 15,000 人増）

図 1 佐久市の人口シミュレーション



佐久市の基本的な姿勢

- ☞若い世代の希望をかなえることにより、合計特殊出生率の上昇を目指す
- ☞各年齢階層にあった転入促進、転出抑制による人口の社会増を目指す

人口 10 万人を目指す

「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要（H29.7 改定）

基本的な考え方

- 1 佐久市における人口減少と地域経済の縮小の悪循環を断ち切る
- 2 佐久市におけるまち・ひと・しごと創生と好循環を確立する

総合戦略の位置付け

人口ビジョンで描く将来展望を踏まえ、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 か年の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの

施策の企画・実行に当たっての基本方針

- 1 市民の暮らしを守り、研ぎ澄ます身近な施策
- 2 佐久市の特色や地域資源を生かした施策
- 3 地域の強みや特徴を生かした施策
- 4 高速交通網を生かした施策
- 5 地域間の連携を生かした施策

基本目標

佐久市におけるまち・ひと・しごとの創生に向け、佐久市人口ビジョンを踏まえ、以下の 4 つの基本目標を設定

①安定して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

【数値目標】

・市内事業所の従業者数
40,203 人 (H26)
⇒41,100 人 (H31)

②多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・人口の社会増
－ (H26)
⇒1,000 人 (H31)

③安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における「ひと」の創生

【数値目標】

・合計特殊出生率
1.59 (H26)
⇒1.69 (H31)

④安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

【数値目標】

・「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合
75.1% (H26) ⇒80% (H31)

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するための新たな取組

若い世代の希望をかなえ、選ばれるまちを実現するため、本戦略に位置付けて新たに実施する主な取組として、以下の取組を推進

佐久市における雇用の安定と仕事づくり	選ばれる佐久市を目指した新しい人の流れづくり	若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現	生きがいをもち、心豊かに暮らすことができるまちの実現
●市内既存企業の工場建設及び生産設備導入への経費補助 ●長者原地区等の農作物の産地化支援 ●保健医療分野における視察研修の受入拡大と国際展開 ●健康長寿を生かした産業の活性化とまちづくりの推進	●佐久市における生涯活躍のまちの構築 ●インターンシップに参加する学生に対する補助 ●首都圏における市内企業のPRイベントの開催 ●佐久市奨学金の償還の一部免除	●保育料の負担軽減 ●子ども福祉医療費給付金支給対象年齢の拡大 ●妊産婦に対する医療費の助成 ●ひとり親家庭等の子どもの生活支援 ●未婚の若者を対象とした恋愛・結婚・子育てに関するイベント等の開催	●樋橋地区開発のための調査・支援 ●中心市街地活性化基本計画の策定

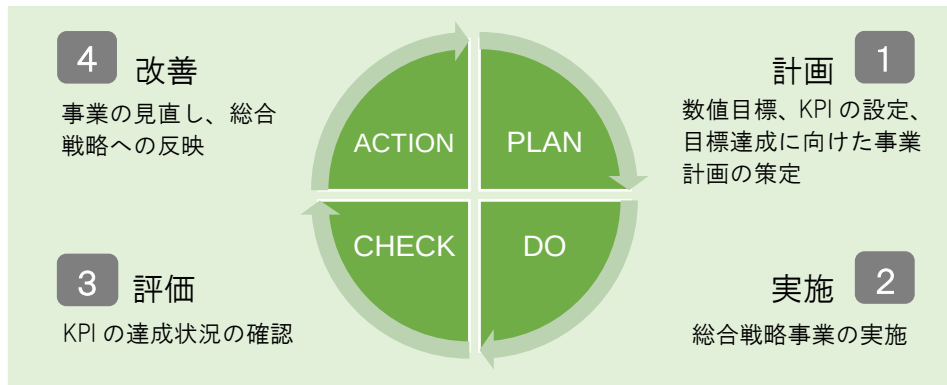
「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価について

1 趣旨

まち・ひと・しごと創生法の施行を受け、市では平成 27 年度に「佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略～若い世代の希望をかなえ 選ばれるまちを目指して～(以下「総合戦略」という。)」を策定しました。

総合戦略に基づく事業を着実に推進するため、PDCAサイクルを確立することが必要とされていることから、その進捗について評価し、今後の施策や事業の改善に活用します。

数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗状況を客観的に把握し、外部の視点も含めて評価を行い、その結果を市民の皆さんに公表します。



2 総合戦略の進捗状況

総合戦略の平成 27 年度・平成 28 年度の施策に係る数値目標および重要業績評価指標(KPI)の進捗状況の概要は、下記のとおりです。

(1) 進捗管理の方法

実績値が基準値からどの程度進展したかを、目安値と比較して進捗率を計算し、次のとおり評価しています(国の地方創生関係交付金の評価方法に準じる。)

順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし
目安値以上	80%以上 100%未満の進捗	80%未満の進捗	統計調査結果が未公表のため、現時点では実績値が把握できない	・統計調査の実施がなく、今後も実績値が把握できない ・目安値・実績値がともに 0 の場合

※目安値:平成 31 年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。

多くの目標において、基準値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしています。

ただし、均等な推移が見込めない等これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を設定しています。

※進捗率=(実績値-基準値)/(目安値-基準値)で算出

(2) 数値目標の進捗状況

4つの基本目標における数値目標について、計画達成年度(平成 31 年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、下記のとおりとなりました。

数値目標	目安値	実績値	進捗区分
基本目標① 安心して働き続けることができる 佐久市における「しごと」の創生			
市内事業所の従業者数 【H26】40,203 人 ⇒ 【H31】41,100 人	— (H27) 40,560 人 (H28)	— 40,369 人	実績値なし ※経済センサス未実施のため 努力を要する

数値目標	目安値	実績値	進捗区分
基本目標② 多くの人に選ばれることができる 佐久市における「しごと」の創生			
人口の社会増（計画期間の累計） － ⇒ 【H31】 1,000 人	200 人 (H27)	246 人	順調
	400 人 (H28)	407 人	順調
基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生み育てることができる 佐久市における「ひと」の創生			
合計特殊出生率 【H26】 1.59 ⇒ 【H31】 1.69	1.61 (H27)	1.52	努力を要する
	1.63 (H28)	1.55	努力を要する
基本目標④ 安心して暮らし続けることができる 佐久市における「まち」の創生			
「佐久市は住みやすい」と回答する人の割合 【H26】 75.1% ⇒ 【H31】 80.0%	－ (H27)	－	実績値なし ※調査が隔年実施のため
	77.0% (H28)	78.7%	順調

(3) 重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

62 のKPIについて、計画達成年度(平成 31 年度)の目標達成に向けた進捗状況を評価した結果、下記のとおりとなりました。

【平成 27 年度分】

基本目標	順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし	その他	計 (%)
1	5 (33.3)	0 (0.0)	7 (46.7)	1 (6.7)	0 (0.0)	2 (13.3)	15 (100.0)
2	2 (20.0)	0 (0.0)	5 (50.0)	0 (0.0)	1 (10.0)	2 (20.0)	10 (100.0)
3	9 (42.9)	1 (4.8)	3 (14.3)	0 (0.0)	5 (23.8)	3 (14.3)	21 (100.0)
4	6 (37.5)	1 (6.3)	2 (12.5)	0 (0.0)	7 (43.8)	0 (0.0)	16 (100.0)
計 (%)	22 (35.5)	2 (3.2)	17 (27.4)	1 (1.6)	13 (21.0)	7 (11.3)	62 (100.0)

【平成 28 年度分】

基本目標	順調	概ね順調	努力を要する	未公表	実績値なし	その他	計 (%)
1	4 (26.7)	2 (13.3)	7 (46.6)	1 (6.7)	0 (0.0)	1 (6.7)	15 (100.0)
2	2 (20.0)	0 (0.0)	5 (50.0)	0 (0.0)	2 (20.0)	1 (10.0)	10 (100.0)
3	13 (61.9)	1 (4.8)	5 (23.8)	0 (0.0)	1 (4.8)	1 (4.8)	21 (100.0)
4	10 (62.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	16 (100.0)
計 (%)	29 (46.8)	5 (8.1)	19 (30.7)	3 (4.8)	3 (4.8)	3 (4.8)	62 (100.0)

※ () 内は構成比。

※「その他」は事業開始前のため、目安値の設定がなされていないものを集計しています。

★主な成果について

総合戦略に記載されている「具体的な取組」について、平成 27 年度及び平成 28 年度の取組内容と主な成果について記載してあります。

基本目標① 安心して働き続けることができる佐久市における「しごと」の創生

基本目標の考え方	市民が安心して暮らしていくためには、仕事があり、経済的に安定していることが重要であるため、まず、仕事の創出・雇用の創出に取り組みます。
----------	---

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
市内事業所の従業者数	目安値		－	40,560	40,740	40,920	41,100	人	
【経済センサス】	実績値	40,203	－	40,369					
	進捗区分		実績値なし	努力を要する					
総合分析	基本目標の達成のため、 ・地域産業の競争力強化 ・首都圏等からの人材還流及び佐久市における人材育成・雇用対策 ・ICT等の利活用による地域産業の活性化に資する取組を推進しました。 数値目標である「市内事業所の従業者数」は、H28実績値は目安値には届かないものの、基準値(H26)の40,203人から166人増加しています。 H28実績値を産業大分類別にみると、「製造業」が9,062人(全産業の22.5%)と最も多く、次いで「卸売業、小売業」が7,741人(同19.2%)、「医療、福祉」が6,819人(同16.9%)となっており、上位3産業で全体の5割以上を占めています。 なお、基準値(H26)と産業別の比較をすると、「建設業」△260人、「卸売業、小売業」△257人、「製造業」△252人の順で減少数が多くなっている一方、「医療、福祉」は920人増となっており、「医療、福祉」分野の従業者数が大きく増加しています。 基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、15項目のうち、H27では、「順調」が5項目、「努力を要する」が7項目となりました。H28では、「順調」が4項目、「概ね順調」が2項目、「努力を要する」が7項目でした。 ※H27実績値は、経済センサス(基礎調査・活動調査)が行われていないため「実績値なし」となります。 ※H28実績値は、H28経済センサス活動調査の速報結果により記載しています。								
今後の方針	重要業績評価指標(KPI)のうち、H27及びH28の2か年にわたり、「努力を要する」となった指標として、「認定農業者の年間農業所得総額」や「保健医療分野における現地視察の受入人数」、「資格取得支援事業による資格取得件数」などがありました。 H28に実施した市民満足度・重要度に関するアンケートでも、施策の重要度として「就労・雇用」が上位にあり、雇用機会の確保が求められていることから、引き続き、各種施策の推進により、農業分野や製造業分野等における従業者数の減少の抑制を図るとともに、本市の特徴の一つでもある保健・医療関連産業の活性化を図るなど、市内における仕事の創出・雇用の創出に努めます。								

（１）地域産業の競争力強化

ア 市内企業の成長の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
製造品出荷額 【工業統計調査】	目安値		(1,937)	1,943	1,949	1,955	1,961	1,970	億円/年
	実績値	1,931	(1,951)	—	—				
	進捗区分		(順調)	未公表	未公表				
進捗状況の分析	出典先について、H27工業統計調査はH28経済センサス実施に伴い中止。H27、28実績値は、経済センサス結果公表後に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となり、進捗状況の分析は行いません。 (参考: H26実績値の主な増要因は、生産用機械器具製造業及び業務用機械器具製造業の出荷額等の増によるものです。)								
今後の方針	引き続き各種施策の推進により、製造品出荷額の増加を図ります。								

指標名	年度別 評価	H25 (基準値)	H26	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
素材生産量	目安値		(5.8千)	6.1千	6.4千	6.7千	7.1千	7.5千	m³/年
【耕地林務課調】	実績値	5.5千	(8.9千)	10.0千	11.5千				
※利用可能な木材の伐採量	進捗区分		(順調)	順調	順調				
進捗状況の分析	国産材の利用促進が高まる中で、加工製品について需要があるカラマツ材の素材生産が一時的に増加しています。								
今後の方針	成熟期を迎えつつある森林を搬出間伐、主伐を行い、素材生産量の増加に努めます。								

主な成果

●新品目野菜等の消費拡大

- ・新品目野菜等の地元消費拡大や市内産農産物のPRを実施

平成27年度実績 イベント等における農産物PRの開催：4回、首都圏農産物トップセールス：1回

平成28年度実績 イベント等における農産物PRの開催：4回、料理研究家によるセミナー開催：1回、
関西圏農産物トップセールス：1回

●長者原地区等の農作物の産地化支援

- ・長者原地区等の大規模産地化の推進のため、生産関連施設の整備経費に対し補助

平成28年度実績 補助金交付件数、金額：

冷蔵施設改修補助(長者原地区) 1件、1,213,000円

選果用センサー更新補助(中佐都地区) 1件、2,860,000円

●佐久市望月土づくりセンターにおける良質な堆肥生産の推進

平成27年度実績 生産量 3,483t 販売額 9,527千円

平成28年度実績 生産量 3,580t 販売額 8,912千円

●佐久市堆肥生産センターにおける良質な堆肥生産の推進

平成27年度実績 生産量 243t 販売額 1,840千円

平成28年度実績 生産量 265t 販売額 1,865千円

●農産物の新たな佐久市ブランド育成のための導入試験及び農業者への普及促進

- ・新品目の農作物や新たな農業技術について、市の気候等への適合や経済性について試験し、農業者へ普及

平成27年度実績： JA佐久浅間に生産部会として「カモミール研究会」が発足

佐久市に適したミニトマト品種(2種)を選定

平成28年度実績： 「カモミール研究会」による出荷量が増加

「佐久古太きゅうり保存会」が農業者により発足

●市内果樹産地の活性化

- ・市内の果樹産地の活性化のため、各種支援策を実施

平成27年度実績： 果樹アシスタント講習の開催数、受講者数：19回、13人

平成28年度実績： 果樹アシスタント講習の開催数、受講者数：18回、8人

プルーンジョイント栽培に取り組んだ農業者：1人

ワイン用ブドウ栽培試験に取り組んだ農業者：1人

●佐久市産日本酒のブランド化のための酒米作付支援

- ・佐久市産酒米を使った日本酒の生産拡大を図るため、酒米作付等を支援

平成27年度実績： 酒米生産に向けた実需者(酒蔵)へのアンケート実施

平成28年度実績： 長野県産育種品種「信交酒549号」の試験栽培及び醸造試験

栽培期間中の現地での検討会、醸造試験後の成分分析及び試験醸造酒の試飲会の開催

●用排水路等の農業生産基盤の改良・補修

- ・老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための改良・補修を実施

高呂原水路工事の実施、土地改良区等への改修事業負担金の支出

●搬出間伐、主伐による素材生産量実績

- ・適切な森林管理により森林を育成、搬出間伐や主伐による素材生産を促進

平成26年度実績 搬出間伐6.2千m³ 主伐2.7千m³ 計8.9千m³
 平成27年度実績 搬出間伐6.7千m³ 主伐3.3千m³ 計10.0千m³
 平成28年度実績 搬出間伐3.8千m³ 主伐7.7千m³ 計11.5千m³

●林道田口十石峠線の開設支援

・森林整備の促進を図るため、県が実施する林道田口十石峠線の開設に対し、負担金を支出

平成27年度実績 施工延長45m 事業費34,020千円

平成28年度実績 施工延長70m 事業費41,202千円

●林道の計画的な維持管理

・林道大河原線をはじめとする市内林道の計画的な維持管理や改良を実施

＊林道大河原線 舗装改良工事の実施状況

平成27年度実績 施工延長90m 事業費10,044千円

平成28年度実績 施工延長326m 事業費27,540千円

ウ 地域資源を活用した観光・交流の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名		年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
観光客入込数		目安値		1,600	1,650	1,700	1,750	1,900	千人/年	
【観光交流推進課調】		実績値	1,514	1,567	1,482					
※1月～12月の暦年集計		進捗区分		努力を要する	努力を要する					
進捗状況の分析		パンフレットやWeb等により観光PRに努めましたが、H27・H28ともに目安値を上回ることはできませんでした。								
今後の方針		関係機関等と連携を図り誘客に向けたPRを進め、入込数の増加を図ります。								
指標名		年度別 評価	－ (基準値)	H29	H30	H31 (目標値)	単位			
東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿国数(計画期間の累計)		目安値		－	－	1	国			
		実績値	－							
		進捗区分								
【体育課調】										
進捗状況の分析		目標値の達成を目指し、現在、大使館訪問や視察受入れ、国や県、関係機関との連携・情報共有による誘致活動を進めています。								
今後の方針		合宿地決定権者との直接交渉を実現させるとともに、あらゆる機会を誘致活動に結びつけ、計画期間内での目標達成を推進します。								

主な成果

●道の駅「ヘルシーテラス佐久南」の整備

・道路利用者の休憩機能や農業をはじめとする地域産業の活性化を図るため、中部横断自動車道 佐久南インターチェンジ出入口に「ヘルシーテラス佐久南」を整備

＊H29.7.8 オープン

●ヒルクライム佐久大会の開催

・自転車イベント「ヒルクライム」を平成27年度から開催。新たな誘客イベントとして定着を図る。

＊出走者の状況

平成27年度実績 632名

平成28年度実績 398名

●佐久総合運動公園の整備

・付帯工事の実施、野球場建設に着手

●佐久地域観光戦略会議の仕組みを活用した広域観光の推進

・佐久地域の市町村、関係団体と連携し、観光資源を生かしたイベント等で佐久地域の魅力を発信

＊活動の状況

平成27年度実績 2回開催

平成28年度実績 2回開催

●東京オリンピック・パラリンピック競技大会の競技関係者への事前合宿誘致活動の実施

・市長・議長の公式訪問に合わせエストニア共和国・フィンランド共和国の陸上競技連盟等にトップセールス(H28.1)

・エストニアのホストタウン登録(H28.1)

・Tokyo2020事前キャンプ候補地ガイド(組織委員会)に陸上競技場、市内宿泊施設を登録(H28.3)

・リオオリ・パラ開催中、現地ジャパンハウスに陸上競技場リーフレットの設置と市内観光施設等の写真の提供(H28.8-9)

・外務省、在エストニア日本国大使館へ、事前合宿誘致の協力依頼文書の発送(H28.10)

・駐日大使館訪問:エストニア・フランス(H27.6)、モンゴル(H27.9)、エストニア(H28.10)、フィンランド(H29.3)

・競技施設、宿泊施設の視察受入れ(ベルギーオリンピック委員会、H29.2)

エ エネルギーの地域内循環システムの構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
市内の自然エネルギー を用いた電力自給率 【環境政策課調】	目安値		10.14	11.73	13.32	14.91	16.50	%	
	実績値	8.55	11.71	13.78					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	メガソーラー発電事業や市民向けの各種補助制度の推進による太陽光等の自然エネルギーの普及により、数値は順調に推移しています。								
今後の方針	今後も補助事業等の継続により、更なる自然エネルギーの普及を推進します。								

主な成果

●木質バイオマスエネルギーの利用促進

・ペレットストーブ、木質バイオマスボイラー・燃料製造設備の購入及び設置経費に対し補助金を交付

＊木質バイオマス熱利用設備導入事業補助金

平成27年度実績 ペレットストーブ:21件

平成28年度実績 ペレットストーブ:20件 燃料製造設備:1件

●太陽光エネルギーの利用促進

・年間日照時間が長い本市の特徴を生かし、補助事業やメガソーラー発電を実施

＊太陽光エネルギー普及事業補助金

平成27年度実績 件数:396件 出力:3,278.49kW 64,449千円

平成28年度実績 件数:286件 出力:1,792.44kW 35,760千円

＊メガソーラー発電所(佐久市茂田井)

平成27年度実績 発電量:3,234,554kWh

平成28年度実績 発電量:3,341,440kWh

●水力発電の利用促進

＊平根マイクロ水力発電所の整備を実施

平成28年2月完成 最大出力10kW

＊老朽化した平根発電所の改修を実施

平成28年度 改修のためプロポーザルを実施:業者決定、設計業務着手
(竣工は平成29年度を予定)

オ 健康長寿ブランドの構築と国際展開

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
保健医療分野における 視察研修の受入人数 【健康づくり推進課調】	目安値		126	150	160	175	185	人/年	
	実績値	111	90	86					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
	進捗状況の分析								
「保健・医療のつばさ」事業における海外からの視察研修受入れを推進しましたが、視察国受入回数（H26:8件、H27:6件、H28:8件）とともに伸び悩んでいます。視察受入及び実施運営に係るニーズの把握に努め、視察研修受入プログラムの改善を適宜図る必要があります。									
今後の方針									
引き続き、関係団体と協議を行い、受入人数・受入回数の増加を図ります。									
指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位		
ヘルスケア関連産業に おける新製品・新技術 の開発件数（計画期間 の累計） 【商工振興課調】	目安値		3	6	9	12	件		
	実績値	－	2						
	進捗区分		努力を要する						
	進捗状況の分析								
H28に佐久市健康長寿産業振興ビジョンを策定し、ヘルスケア関連産業等の創出・拡大に努めているところですが、同ビジョンの実行はH29以降ということもあり、現状では目安値には達していない状況です。									
今後の方針									
H30に産業支援機関の立ち上げを予定しており、同機関において新製品・新技術の開発等を支援することにより、件数の増加を図ります。									

主な成果
●世界に誇る佐久市の「健康長寿」ブランドの構築推進 ・地域の強みである「健康長寿」の要因やそれによる魅力を分析し、今後の活用方法を検討するため、佐久市健康長寿要因等調査を実施し、調査報告書を作成 【地方創生関係交付金活用事業】 ●「健康長寿」ブランドの国際展開による世界への貢献 ・健康長寿プロモーションビデオを制作 - 佐久の健康長寿を広く認知してもらうためのプロモーションビデオとして、海外からの視察研修者を対象とした長編ビデオ5ヶ国語バージョンと、インターネットを媒体として国内外に向けて情報発信する落語を題材とした短編ビデオ（英語テロップ入り）を制作 【地方創生関係交付金活用事業】 ・「保健・医療のつばさ事業」における海外からの視察研修者の受入れを実施 - 佐久市、国保浅間総合病院、佐久総合病院、佐久大学の4者の連携により、海外視察研修者の受入を実施するとともに、連携方法等について検証を適宜実施 【地方創生関係交付金活用事業】 ●健康長寿関連産業の活性化を推進 ・「健康長寿」ブランドの確立と保健医療システムの国際展開を地域経済の活性化につなげるため、平成29年3月に「佐久市健康長寿産業振興ビジョン」を策定 【地方創生関係交付金活用事業】 *ヘルスケア関連産業における新製品・新技術の開発 - 平成28年度実績 開発件数:2件 ・プレパレート自動染色・封入システムユニット（病理検査で使用する医療機器）の開発 （事業主体:㈱システム・ワン、㈱イオジェネサポート） ・ナノ化技術を使用したディフューザー（空間の除菌・消臭等を行う装置）の開発 （事業主体:㈱イオジェネサポート、㈱システム・ワン、㈱カウベルエンジニアリング）

●健康長寿のまちづくりを推進

- ・「健康長寿」のまちづくりを推進するため、平成29年3月に「佐久市健康長寿まちづくり計画」を策定
【地方創生関係交付金活用事業】

（２）首都圏等からの人材還流及び佐久市における人材育成・雇用対策

ア 新規就農・就業の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
新規就農者数(計画期 間の累計) 【農政課調】	目安値		6	12	18	24	30	人	
	実績値	－	6	11					
	進捗区分		順調	概ね順調					
進捗状況の分析	新規就農支援策の充実により、概ね順調に新規就農者が増加しています。								
今後の方針	支援策の周知を徹底し、新規就農者のさらなる増加を図ります。								

主な成果

●新規就農者及び農業後継者の定着のための経費補助

- ・国等の給付金の対象とならない新規就農者、農業後継者に対する市単独の補助金を新設
平成28年度実績 補助金交付件数、金額： 3件、900,000円

●新規就農希望者研修制度の構築

- ・新規就農者を受け入れ、経営継承を目指す高齢農家に対する研修経費に係る補助金を新設
平成28年度実績 相談件数： 2件

●UIJターンによる新規就農希望者への情報発信及び定着支援

- ・就農相談会での情報発信等により、新規就農希望者の就農を総合的に支援
平成27年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数： 12回、31人 首都圏就農相談会の参加： 1回
平成28年度実績 定例就農相談会の開催数、参加者数： 8回、16人 首都圏就農相談会の参加： 1回

イ 技能・知識の獲得の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
資格取得支援事業による 資格取得件数(計画 期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	件	
	実績値	－	1	2					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	H27から開始した事業ですが、補助利用が少ない状況です。								
今後の方針	事業の周知を強化し、資格取得件数の増加に努めます。								

主な成果

●商工業者の技能養成にかかる経費への補助

- 平成27年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:26人）
平成28年度実績 補助件数1件（技能養成講座・講習等受講者数:41人）

●従業員及び内定者の資格取得の経費への補助

- 平成27年度実績 補助金を交付した企業数 2社（合格者数 1名、不合格者数 1名）
平成28年度実績 補助金を交付した企業数 2社（合格者数 1名、不合格者数 1名）

ウ 多様な人材の雇用促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
移住者雇用対策事業による移住者雇用件数 (計画期間の累計)	目安値		3	6	9	12	15	件	
	実績値	－	1	5					
	進捗区分		努力を要する	概ね順調					
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	H27は事業開始初年度であり、実績は1件でしたが、H28は制度の普及により、単年度ベースの目安値(3件/年)を達成、概ね順調の進捗となっています。								
今後の方針	引き続き事業の周知により、移住者雇用件数の増加を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
障がい者実雇用率	目安値		2.00	2.03	2.05	2.07	2.10	%	
	実績値	1.92	1.65	1.78					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
【長野労働局調】									
進捗状況の分析	市内相談支援事業所等と連携し、障がい者の就労に係る相談支援事業に取り組みましたが、法定雇用率を達成した企業数の増加につながらず、目安値を下回る結果となりました。								
今後の方針	事業主のための障がい者雇用支援制度の情報提供等、企業や職場の「障がい者の就労」に対する理解の普及・啓発に努めます。								

主な成果

- 移住者の雇用に対する補助の実施

平成27年度実績 補助金を交付した企業数 1社（移住者数 1名）

平成28年度実績 補助金を交付した企業数 4社（移住者数 4名）

- ## ●障がい者への相談支援体制の充実

- ・働く意欲のある障がい者が就労し、地域で自立し安心して生活できるよう、市内相談支援事業所及び佐久広域連合障害者相談支援センターと連携し、相談支援に取り組む。

（３）ＩＣＴ等の利活用による地域産業の活性化

ア 民間企業等のＩＣＴ活用による効率化と付加価値向上の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
サテライトオフィス設置 支援事業による事業所 の立地件数(計画期間 の累計)	目安値		1	2	3	4	5	件	
	実績値	－	0	0					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	誘致活動を展開しているところですが、企業立地に繋がっていない状況です。								
今後の方針	これまでの企業訪問による誘致活動に加え、企業等の協力を得ながら制度のPR活動を行い誘致を推進します。								

主な成果

- ## ●企業訪問による誘致活動の実施

平成27年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 13件

平成28年度実績 ICT企業等への企業訪問件数 18件

基本目標② 多くの人に選ばれることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の社会動態に着目して考えれば、人口の流入促進と流出抑制を図ることが重要であるため、佐久市への新しい人の流れづくりに取り組みます。
----------	--

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
人口の社会増 (計画期間の累計) 【長野県毎月人口異動調査】	目安値		200	400	600	800	1,000	人	
	実績値	—	246	407					
	進捗区分		順調	順調					
総合分析	基本目標の達成のため、 ・移住・交流施策の促進 ・企業等の誘致、企業等における地方採用・就労の拡大 ・若者の市内企業への就職促進と人材育成に資する施策を推進しました。 数値目標である「人口の社会増(転入者数－転出者数)」は、H27は246人の増、H28は161人の増となり、順調に推移しています。 (平成27年：転入者数 3,518人 － 転出者数 3,272人 ＝ 246人) (平成28年：転入者数 3,499人 － 転出者数 3,338人 ＝ 161人) 基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、10項目のうち、平成27年度、平成28年度ともに、「順調」が2項目、「努力を要する」が5項目となりました。								
今後の方針	重要業績評価指標(KPI)のうち、H27及びH28の2か年にわたり、「努力を要する」となった指標として、「新たな企業等の立地件数(サテライトオフィスの立地も含む)」や「インターンシップ実習生を市内企業が採用する人数」、「イベント・見学会参加企業へのUターン就職者数」などがありました。 サテライトオフィスの設置も含めた企業等の誘致に当たっては、企業訪問による誘致活動や支援制度の周知を今後さらに推進するほか、若者の市内企業への就職促進と人材育成については、就職支援員による大学等の訪問や首都圏等での市内企業のPRイベントの開催、インターンシップへの各種補助事業の周知に引き続き努めます。 関連施策の推進により、本市への新しい人の流れづくりに取り組み、「多くの人に選ばれるまち」を目指してまいります。								

(1) 移住・交流の促進

ア 交流・観光・移住のためのプロモーションの実施

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	
市ホームページでのP R動画再生件数 【広報情報課調】 ※H27動画公開開始	目安値		230	460	690	920	1,150	件/月	
	実績値	—	308	801					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析		ホームページ掲載動画の充実を図ったことにより、再生件数が堅実に伸びています。							
今後の方針		掲載動画のうち作成時期が古いものは再生件数が低下していくため、新しい動画への更新・充実に努めます。							

主な成果

● 佐久市の人・街・食・環境等の情報の発信

- ・FMラジオにより、定期コーナー及びイベントと連動した出張放送を実施

- ・市の情報をホームページで動画配信することにより、市内外の方々に佐久市の魅力を効果的に発信

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
活動後に移住する地域 おこし協力隊員の率 【企画課調】	目安値		－	－	－	60.0	%	
	実績値	－	－					
	進捗区分		実績値なし					
進捗状況の分析	地域おこし協力隊については、H28から導入し、5名の隊員が活動中です（H28末時点）。任期が最長3年であり、任期満了者がいないため、H28は「実績値なし」となります。							
今後の方針	活動地域への定住・定着が図れるよう、隊員の起業化支援に努めます。							

主な成果

●地域おこし協力隊により地域の活性化を推進

* 地域おこし協力隊導入状況（H29.3.31現在）

・平成28年4月1日委嘱 4名

	活動地域	活動内容
隊員①	白田地域	健康メニュー・商品開発と地域の賑わいの創出等
隊員②	浅科地域	伝統的地場産業の担い手育成等
隊員③	望月地域	工芸・民芸・書などの特産品等の開発等
隊員④	望月地域	小さな物流システムの構築支援等

・平成28年8月1日委嘱 1名

	活動地域	活動内容
隊員⑤	臼田地域	生涯活躍のまち(日本版CCRC)の事業化のコーディネート等

エ 生涯活躍のまち（日本版CCRC）の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
生涯活躍のまち(日本版CCRC)構築による 市外からの移住者数 (計画期間の累計) 【地域整備室調】	目安値		－	－	－	－	50	人	
	実績値	－	－	－					
	進捗区分		実績値なし	実績値なし					
進捗状況の分析	臼田地区における生涯活躍のまちの構築に向けた準備段階のため、H27及びH28は「実績値なし」となります。								
今後の方針	平成31年度のサービス付き高齢者向け住宅の入居開始にあわせ、生涯活躍のまちの構築を推進します。								

主な成果

●生涯活躍のまち(日本版CCRC)の構築

- ・移住の動機付けにも必要となる地域の魅力づくりに向けた事業を推進

*佐久市への移住お試しツアー

平成28年度実績 1回開催 4名参加

* 移住促進センターにおける相談件数

平成27年度実績 80件

平成28年度実績 155件

【地方創生関係交付金活用事業】

(2) 企業等の誘致、企業等による地方採用・就労の拡大

ア 企業や政府関係機関の誘致

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
新たな企業等の立地件 数(計画期間の累計)	目安値		2	4	6	8	10	件	
	実績値	－	1	2					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
※サテライトオフィスの立地を含む									
進捗状況の分析	産業立地推進員の誘致活動やその他施策の推進により、平成28年度末までに民間所有地への2件の企業誘致に成功しています。								
今後の方針	工業用地の整備の検討を進めるとともに、引き続き民間所有物件への企業誘致を推進します。								

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
佐久市奨学金の償還の 一部免除要件を満たし 市内に在住している者 の数(計画期間の累計)	目安値		13	26	40	人	
	実績値	－					
	進捗区分						
進捗状況の分析	H29から開始する事業です。						
今後の方針	学校訪問や広報紙へ掲載により、免除制度の周知を図ります。						

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
インターンシップ実習生 を市内企業が採用する 人数(計画期間の累計)	目安値		2	4	6	8	10	人	
	実績値	—	1	3					
【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
進捗状況の分析	H28末実績値は累計3人で努力を要する結果となりましたが、インターンシップ実習生が受け入れた市内企業の採用試験に申し込まないこともあるためと考えられます。								
今後の方針	市内企業のPRの機会や将来の技術者の確保のきっかけとして、インターンシップに係る補助制度を利用してもらうことにより、首都圏等の学生の市内企業への就職の可能性が広がることから、引き続き事業の周知に努めます。								

主な成果

●若者の市内企業への就職促進

- ・インターンシップ事業に参加する学生を受け入れた企業に対し、補助金を交付
平成27年度実績 受入れ企業数:4社(参加学生数:14名。うち市内企業への就職者数:1名)
平成28年度実績 受入れ企業数:8社(参加学生数:17名。うち市内企業への就職者数:2名)
- ・インターンシップ事業に参加する学生の交通費及び宿泊費に対し、補助金を交付
平成27年度実績 上記参加学生14名のうち、補助利用者 2名
平成28年度実績 上記参加学生17名のうち、補助利用者 3名

イ 学生等への市内企業のPR支援

重要業績評価指標 (KPI) の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
イベント・見学会参加企 業へのUターン就職者 数(計画期間の累計)	目安値		10	20	30	40	50	人	
	実績値	—	1	1					
【商工振興課調】	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
進捗状況の分析	首都圏におけるPRイベント(面接会等)への参加者数が少なく、就職者数も目安値に達していないことから、より多くの学生等に参加してもらえるようイベントの周知を強化する必要があります。								
今後の方針	就職までつながる件数は少ない状況ですが、市内企業を多くの学生等に知ってもらうためのPRの場は必要と考えられるため、より多くの学生等に参加してもらえるよう開催方法等を検討するとともに、引き続き事業の周知に努めます。 また、現在は戦略に載っていませんが、地元で開催している就職説明会・面接会等についても、若者の市内企業への就職促進(地元への定着・流出防止)という趣旨に合うものであることから、それら取組についても総合戦略に追加すること及びそれに伴うKPI(指標)の修正を検討します。								

主な成果

●就職支援員による大学等への訪問

- 就職支援員 1名
- 平成27年度実績 上田地区 4校、長野地区 8校、松本・茅野地区 6校、高崎・前橋地区 0校 計18校
- 平成28年度実績 上田地区 4校、長野地区 5校、松本・茅野地区 3校、高崎・前橋地区 7校 計19校

●市内企業のPRイベント(面接会等)の開催

- 平成27年度実績 開催回数:1回(東京)参加者数:15名
※他に佐久地域1回(参加者数:120名)
- 平成28年度実績 開催回数:1回(東京)参加者数:6名
※他に市内1回、佐久地域1回(参加者数:市内35名、佐久地域112名)

ウ 地域産業を担う人材の育成支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
佐久大学・佐久大学信 州短期大学部からの地 元企業等への就職者数	目安値		49	54	60	65	70	人/年	
	実績値	36	30	16					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
進捗状況の分析	地元企業等への就職者数は減少傾向となっています。市外出身者は地元へ戻っての就職が多く、市内出身者の県外就職もあることが考えられます。								
今後の方針	実習の受け入れ等により、地域の医療・福祉産業の活性化とそれを担う人材の育成に努めます。								

主な成果

●地元大学等との連携強化

- ・平成26年8月に佐久大学・佐久大学信州短期大学部と包括連携協定を締結
- ・佐久大学生の佐久市への実習の受け入れ
健康づくり推進課:看護総合実習、地域看護実習
高齢者福祉課:地域看護実習
浅間総合病院:看護学実習等
みすず苑:老年看護学実習 他
- ・佐久大学への講師派遣
浅間総合病院:医師、看護師を講師として派遣
健康づくり推進課:保健師、栄養士、歯科衛生士を講師として派遣 他
- ・佐久大学短期大学部学生の佐久市への実習受け入れ
シルバーランドみつい・きしの:介護施設実習

基本目標③ 安心して結婚し、子どもを生み育てることができる佐久市における「ひと」の創生

基本目標の考え方	人口減少の抑制を人口の自然動態に着目して考えれば、たくさんの子どもが生まれることが重要であるため、市民が、安心して結婚し、子どもを生み育てたいという希望を実現できる社会環境の醸成に取り組みます。
----------	---

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
合計特殊出生率	目安値		1.61	1.63	1.65	1.67	1.69	—	
【健康づくり推進課調】	実績値	1.59	1.52	1.55					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
総合分析	基本目標の達成のため、 ・若い世代の経済的安定 ・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援 ・子ども・子育て支援の充実 ・仕事と生活の調和の実現に資する施策を推進しました。 数値目標である「合計特殊出生率」は、H27は前年(H26)より0.07ポイント減の1.52、H28は前年(H27)比0.03ポイント増の1.55となりましたが、いずれの数値も目安値を下回る結果となりました。出産可能な年齢(15歳～49歳)の女性人口が減少し、さらに母の年齢階級別出産数では、25～34歳の層で減少をしていることから、出生率が減少している状況であると考えられます。 基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、21項目のうち、平成27年度では、「順調」が9項目、「概ね順調」が1項目、「努力を要する」が3項目となりました。平成28年度では、「順調」が13項目、「概ね順調」が1項目、「努力を要する」が5項目でした。								
今後の方針	重要業績評価指標(KPI)のうち、「自立支援教育訓練給付事業による資格取得件数」や「子育て支援サイトへのアクセス数」、「男女共同参画推進事業者表彰件数」など、H27及びH28の2か年にわたり、「努力を要する」となった指標もありましたが、本分野においては「順調」の評価が最も多くの割合を占める結果※となりました。 今後も加速度的に人口減少が進むと見込まれる中において、市民の皆さんが安心して結婚し、子どもを生み育てることができる社会環境の醸成に引き続き取り組みます。 ※実績値なし、未公表等を除く。								

（１）若い世代の経済的安定

ア 雇用の安定と子育て家庭の経済的負担の軽減

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
雇用対策事業補助金による新規雇用者数(計画期間の累計)	目安値		39	78	117	156	195	人
	実績値	－	43	92				
	【商工振興課調】	進捗区分		順調	順調			
進捗状況の分析		雇用対策事業補助金の利用促進により、補助を活用した新規雇用者数は順調に推移しています。						
今後の方針	新規雇用者数は順調に推移していますが、本補助金については、離職者に対する補助は平成28年度までの時限措置として終了しており、新規学卒者に対する補助についても、平成29年度までの時限措置としているため、平成29年度で終了の予定です。 本事業は地方創生において一定の効果が認められたと考えられるため、移住者を雇用した企業に対する補助メニューも含め、今後、事業内容を精査するとともに、KPIについて修正を検討します。							

指標名	年度別 評価	H28 (基準値)	H29	H30	H31 (目標値)	単位			
おたふくかぜワクチンの 任意接種費用助成事業 を利用する1歳児の割合 【健康づくり推進課調】	目安値		55	58	60	%			
	実績値	—							
	進捗区分								
進捗状況の分析	平成29年度から開始する事業です。								
今後の方針	広報や窓口等における事業の周知により、利用者数の増加を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	※縄跳び、 マット運動、 鉄棒などの 運動が好き になって自発 的に運動する 年長児童 の割合
園や家庭で、自発的に 運動をする年長児童の 割合 【子育て支援課調】	目安値		50	55	60	65	70	%	
	実績値	—	65	68					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	保育に運動あそびプログラムを取り入れていることにより運動が身近なものとなり、順調に推移しています。								
今後の方針	引き続き運動あそびプログラムを取り入れた保育を推進します。								

主な成果

●乳幼児学級の実施

- ・乳幼児の親子に対する体験・学習等(リズム体操、ミニ運動会等)の教室を市内各地で実施

平成27年度実績 64回開催 延参加者数 1,903人

平成28年度実績 56回開催 延参加者数 1,848人

●「こんにちは赤ちゃん事業」の実施

- ・乳児の健やかな発育・発達のため、生後4か月までの全乳児とその家族に対し、保健師・助産師が訪問指導を実施

平成27年度実績 訪問件数 765件

平成28年度実績 訪問件数 753件

●乳幼児健康診査の実施

- ・母子保健法に基づき、乳児(4か月児、10か月児)の健康診査と、幼児(1歳6か月児、3歳児)の健康診査及び歯科健康診査を実施。7か月児健康診査は、県内医療機関にて個別健診を実施

平成27年度実績

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	721	698	739	872	820
受診率	100.1	95.4	102.2	99.4	98.7

平成28年度実績

	4か月児	7か月児	10か月児	1歳半	3歳児
受診児数	767	727	764	716	825
受診率	97.6	85.5	98.2	98.5	98.4

※受診率100%を超えるものは、前年度対象の未受診の児が受診したことによるもの

●「子育てママさん訪問事業」(養育支援訪問事業)の実施

- ・育児支援が必要な家庭に対し、保健師・助産師が継続して支援を実施

平成27年度実績 122件

平成28年度実績 159件

●「教えて！ドクター」(子ども疾病対応出前講座)の開催

- ・主に0歳から2歳までの保護者を対象に講座を開催。病気に対する知識習得による不安解消と子育て力向上を図る。

平成27年度実績 34回開催

- ・講座内容をまとめた「教えて！ドクター」冊子を作成、乳幼児の保護者を対象に配布。また、あわせて電子版としてアプリケーションを開発

●柳沢式運動あそびプログラムの実施

- ・平成27年度は指導用DVD及び指導書の作成、巡回指導、保育士を対象とした全体会を開催。平成28年度も引き続き巡回指導や全体会を開催。作成したDVD等も使用し、保育の中に運動あそびプログラムを取り入れている。

●「キッズキッチン」(食育講座)の開催

平成27年度実績 4回開催 延参加者数 65人

平成28年度実績 4回開催 延参加者数 68人

●「オールマイティ1年生事業」の実施

・全国の小学1年生を対象に、市内の体験・学習・文化・観光施設の無料パスを配布

＊配布の状況

平成27年度実績 1,067冊

平成28年度実績 1,009冊

イ 未就学児の保育・教育環境の充実

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「子育て支援・児童福祉」についての満足度	目安値		—	28.9	—	31.1	32.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	26.7	—	29.1					
	進捗区分		実績値なし	順調					
進捗状況の分析	H28実績値については、障害児保育事業等の保育サービスをはじめ、子育て支援事業や児童館運営等の充実を図ってきたことにより、目安値に対し順調に推移しています。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。 ※満足度は、「満足」と「やや満足」の合算値となります(以下同じ。)								
今後の方針	引き続きニーズに対応した保育の提供を推進します。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「幼児教育」についての満足度	目安値		—	27.9	—	30.1	31.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	25.7	—	33.2					
	進捗区分		実績値なし	順調					
進捗状況の分析	H27に信州型やまほいく認定制度の認定を受け、自然を生かした保育・教育環境の充実を図ったほか、第3子以降保育料の無料化や通園費補助等ニーズに応じたサービスの提供により、目安値に対し順調に推移しています。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	引き続きニーズに対応したサービスを推進します。								

主な成果

●多様なニーズに対応した保育サービスの提供

・延長保育や一時保育、障がい児保育、休日保育、病児・病後児保育等の保育サービスを展開

＊市内保育園数 公立15園、私立9園

＊延長保育の利用状況（28園実施）

平成27年度実績 延 15,412人

平成28年度実績 延 15,853人

＊一時保育の利用状況（13園実施）

平成27年度実績 延 6,614人

平成28年度実績 延 4,993人

＊障がい児保育の対象児童数

平成27年度実績 27人

平成28年度実績 30人

＊広域入所事業の利用状況

平成27年度実績 32人

平成28年度実績 43人

＊休日保育の利用状況（3園実施）

平成27年度実績 延 733人

平成28年度実績 延 745人

＊病児・病後児保育の利用状況

《病児保育：浅間総合病院で実施》

平成27年度実績 延 252人

平成28年度実績 延 203人

《病後児保育：岸野保育園で実施》

平成27年度実績 延 14人

平成28年度実績 延 13人

●私立保育園・幼稚園の運営費の補助

平成27年度実績 9園
平成28年度実績 9園

●通園に係る経費への補助の実施

・最寄りの保育園まで4kmを超える園児の保護者に通園費を補助
*対象児童数
平成27年度実績 33人
平成28年度実績 38人

●ショートステイの実施

・一時的に児童の養育が困難になった場合に、原則7日間以内において児童養護施設での預かり支援を実施
平成27年度実績 3件
平成28年度実績 1件

ウ 子育て支援拠点の機能の充実

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
小学生低学年の児童館 利用率 【子育て支援課調】	目安値		27.5	27.6	27.8	27.9	28.0	%	
	実績値	27.4	28.8	31.2					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	佐久平浅間児童館の開館(H27.7～)により、市内全ての小学校区に児童館が整備されました。共働き家庭の増加等の理由により、年々利用率が上昇してきたと考えられます。								
今後の方針	子育て支援拠点の機能の一層の充実に努め、利用率の向上を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
つどいの広場の利用者 の満足度 【子育て支援課調】	目安値		50.0	55.0	60.0	65.0	70.0	%	
	実績値	—	50.0	59.1					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	H27、28ともに目安値以上の満足度を得ることが出来ました。H28の満足度上昇については、佐久平イオンモール内に「わくわくランドUー6」が開所(H28.4～)したことによるものが考えられます。								
今後の方針	幅広い周知により、利用者の増加および満足度の向上を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
子ども未来館の来館者 数 【子育て支援課調】	目安値		98,000	98,500	99,000	99,500	100,000	人/年	
	実績値	97,293	102,279	100,174					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	連休の長短や天候等の影響もありますが、順調に推移しています。								
今後の方針	引き続き企画展示の充実やイベントの強化により、来館者数の増加を図ります。								

主な成果

●児童館の運営の充実

・佐久平浅間小学校の開校に併せ、平成27年7月に佐久平浅間児童館を新たに整備
*来館者数合計
平成27年度実績 288,516名
平成28年度実績 299,784名

●放課後児童クラブに対し運営費の補助

・就労等により保護者が昼間家庭にいない小学生児童に対し、放課後の居場所を提供
平成27年度実績 2箇所
平成28年度実績 2箇所

●「子育てサロン」の開催

- ・就学前の親子の不安を解消するため、就学前児童と保護者等が気軽に集まることができる機会を各児童館で提供
市内児童館数 19館
平成27年度実績 294回開催
平成28年度実績 306回開催

●「わくわくランドU-6」の開催

- ・平成28年4月から佐久平イオンモール内において、乳幼児とその保護者が気軽に集い、交流できる機会を提供
平成28年度実績 149回開催 延利用者数4,382人（市内:3,659人、市外:723人）

●「つどいの広場」の開催

- ・就学前親子の交流・遊びの場を提供
平成27年度実績 613回開催 延利用者数 16,986人
（開催場所:サングリモ中込、協和保育園内、あさしな保育園内）
平成28年度実績 869回開催 延利用者数 24,791人
（開催場所:サングリモ中込、協和保育園内、あさしな保育園内、佐久平イオンモール、うすだ健康活動サポートセンター）

●子ども未来館の運営充実

- ・プラネタリウム等のリニューアルに向け、リニューアル検討委員会において平成28年度に計画を策定
- ・平成28年度から新館長に「なおやマン」さんを迎え、科学実験教室等の体験型イベントを多数開催

エ 子育て支援情報の提供とサークル活動の活性化の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	※市の子 育て支援 情報サイト (パパママ フレ)への アクセス数
子育て支援サイトへの アクセス数(計画期間 の累計)	目安値		15,000	25,000	35,000	45,000	55,000	件	
	実績値	－	10,958	21,551					
	進捗区分		努力を要する	概ね順調					
【子育て支援課調】									
進捗状況の分析			サイトの上手な使い方を紹介したリーフレットの窓口配布等により、アクセス数は概ね順調に推移しています。						
今後の方針			引き続き周知を行うとともに、市ホームページから目的のサイトに容易にアクセスできるよう配慮するなど改善を図り、子育て支援の充実を図ります。						
指標名	年度別 評価	－ (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
利用者支援事業の利用 件数(計画期間の累計)	目安値		30	240	600	1,200	1,750	件	
	実績値	－	33	170					
	進捗区分		順調	努力を要する					
【子育て支援課調】									
進捗状況の分析			H27.11月から開始した事業です。H28実績値は目安値を下回る結果となったものの、事業の周知により件数は増加しています。						
今後の方針			引き続き周知を行い、新規利用者の増加を図ります。						

主な成果

●既存の各種サービスの的確な利用を支援する利用者支援事業の実施

- ・教育・保育施設や各種子育て支援事業等の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるよう、身近な場所において、子育てコーディネーターによる情報提供や相談助言等を実施
平成28年度実績 140件

●子育て支援情報サイト「パパママフレ」の運営

- ・子育て情報をわかりやすく整理し、利用者が知りたいサービスが容易に検索できるサイトを官民共同事業により運営

●多胎児をもつ親の会「さくらんぼキッズ」への支援

- ・多胎児が心身ともに健やかに育つために、同じ悩みを持つ保護者の情報交換の場を提供
平成27年度・平成28年度実績 年3回開催

オ 様々な悩みを持つ家庭への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	
子ども特別対策推進員 による家庭児童相談の うち関係機関と連携し て対応した数の割合 【子育て支援課調】	目安値		20.0	21.0	22.0	23.0	25.0	%	
	実績値	19.9	20.2	21.1					
	進捗区分		順調	順調					
進捗状況の分析	相談内容が多様化する中で、必要に応じて各機関と連携を取りながら対応しており、順調に推移しています。								
今後の方針	相談件数が増加傾向にあることから、複雑な内容等は学校関係や保健医療機関との連携に努めます。								

主な成果	
●チャイルドライン支援事業の実施 ・チャイルドラインを運営する団体へ補助金を交付 - 平成27年度実績 1件 - 平成28年度実績 1件	
●子ども特別対策推進員・家庭児童相談員による相談支援事業の実施 ・子どもに関する様々な相談について、関係機関と連携した相談業務を実施 - 平成27年度実績 相談実数202件 連携件数41件 - 平成28年度実績 相談実数184件 連携件数39件	
●療育支援センターの運営による障がい児への療育・機能訓練および生活指導の実施 *通園児の状況 - 平成27年度実績 利用登録者数 109人 延利用児童数 1,568人 - 平成28年度実績 利用登録者数 110人 延利用児童数 1,375人	
●重症心身障がい児親子体験事業の実施 ・夏休みに合わせて医療ケアが必要な重症心身障がい児のための日中活動スペースを期間限定で設け、関係機関の専門スタッフによるサポートを実施 - 平成28年度実績 H28.7.26～7.29(4日間)開催 預かった児童数 延15人	
●不登校児童生徒への支援の実施 ・スクールメンタルアドバイザーによる教育相談、チャレンジ教室の開室や不登校等対策連絡協議会を開催 *学校訪問件数 - 平成27年度実績 1,668件 家庭環境:211件(12.6%)、不登校:186件(11.1%)、友だち関係:184件(11.0%) - 平成28年度実績 1,719件 家庭環境:250件(14.5%)、学習:199件(11.5%)、友だち関係:191件(11.1%) *チャレンジP-Smile(不登校の児童生徒の親の会)開催数 (チャレンジ教室において開催) - 平成27年度実績 3回 - 平成28年度実績 6回 *不登校等対策連絡協議会での取組 - 平成27年度実績 事例集「こんな明るさが見られた!Ⅱ」を作成し、市内小中高等学校へ配布 - 平成28年度実績 「平成28年度 不登校等対策・取組への提言」を作成し、市内小中高等学校へ配布	
●就学支援委員会専門員による就学相談や就学支援委員会における適正な就学先の判断 ・「夏期集中就学相談」等において保護者などから相談を受け、就学支援委員会ですその子にとって最も望ましい就学先を判断 *夏期集中就学相談件数 - 平成27年度実績 56件 - 平成28年度実績 81件 *就学支援委員会諮問件数 - 平成27年度実績 123件 - 平成28年度実績 130件	

力 小中学校の教育環境の充実

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「学校教育」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.0	—	34.0	35.0	%
	実績値	30.7	—	35.3				
	進捗区分		実績値なし	順調				
進捗状況の分析	学校教育のニーズを把握した施策の推進により、目安値を上回る満足度となりました。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。							
今後の方針	引き続き施策の推進により、更なる教育環境の充実を図ります。							

主な成果

●理科支援員を新たに配置

- ・理科専科の教員が配置されていない小学校に理科支援員を配置し、充実した理科教育及び問題解決学習を実施
平成28年度実績 高瀬小学校、田口小学校、臼田小学校、浅科小学校 各1名配置

●学力向上加配職員の配置

- ・一人ひとりの児童生徒への指導がより深く、充実して行われるよう加配職員の教科性を生かし、学級担任とのチームティーチングを中心に指導
- 平成28年度実績 小学校8名、中学校5名配置

●外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得支援

- ・外国籍児童生徒等の日本語の知識等の習得のために日本語教室(浅科小学校)に日本語支援員を配置。また、日本語教室へのスクールタクシーを運行し、受け入れ態勢を整備
- 平成28年度実績 日本語支援員2名配置(市費1名、県費1名)
- スクールタクシー利用者数 11名(在籍者数18名)

（４）仕事と生活の調和の実現

ア 希望するワーク・ライフ・バランスの実現の支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
「社員の子育て応援宣言！」登録企業数	目安値		—	54	60	66	72	社
	実績値	42	—	73				
【長野県労働雇用課調】	進捗区分		実績値なし	順調				
進捗状況の分析	事業の周知により、「社員の子育て応援宣言！」登録企業数は順調に推移しています。 ※H27実績値については、県による市町村別実績の公表がないため「実績値なし」としています。							
今後の方針	引き続き、事業の周知に努めます。							

主な成果

●「社員の子育て応援宣言！」登録企業の紹介等による啓発

- ・市内事業所200社へ制度周知・登録企業募集チラシを送付

イ 女性の仕事と子育ての両立を支えるための意識の啓発

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
男女共同参画推進事業者表彰件数 【人権同和課調】	目安値		5	5	5	5	5	件/年	
	実績値	5	4	3					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
進捗状況の分析	意識啓発や表彰制度の周知に努めましたが、応募事業者が減少しています。								
今後の方針	表彰制度のさらなる周知を図ることにより、男女がともに働きやすい職場づくりを引き続き推進します。								

主な成果	
●子育て世代の女性に対する相談支援の実施(県実施事業) ・子育て世帯の女性に対し、就労に関する悩みや不安の軽減を図り、就労に向けての支援を実施 平成28年度実績 就労件数 55件	
●男女共同参画の積極推進事業者の表彰 ・男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる事業者の表彰を行い、模範的な取組を参考に男女ともに働きやすい職場づくりを推進 平成27年度 H28.1.31(日)佐久大学、平成28年度 H29.2.10(金)佐久情報センターにおいて表彰式を実施	

基本目標④ 安心して暮らし続けることができる佐久市における「まち」の創生

基本目標の考え方	市民が生活やライフスタイルの素晴らしさを実感し、生きがい豊かに安心して暮らしていくためには、それを支える「まち」が重要であるため、活力ある「まち」の創生に取り組みます。
----------	--

数値目標の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「佐久市は住みやすい」 と回答する人の割合 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	77.0	—	79.0	80.0	%	
	実績値	75.1	—	78.7					
	進捗区分		実績値なし	順調					
総合分析	基本目標の達成のため、 ・持続可能な経済・生活圏の形成 ・人口減少等を踏まえた既存ストックのマネジメント強化 ・住民が地域防災の担い手となる環境の確保 ・ふるさとづくりの推進に資する施策を推進しました。 数値目標である『佐久市は住みやすい』と回答する人の割合』は、H28実績値は78.7ポイントとなり、H26時と比較すると3.6ポイント上昇し、順調に推移しています。 同アンケートにおいて、施策と住みやすさの相関を見ると、「住みやすい」と回答した人の評価が高い施策として、「高速交通ネットワーク」「消防・救急」「医療」が上位を占めています。								
	基本目標に係る重要業績評価指標(KPI)は、16項目のうち、H27では、「順調」が6項目、「概ね順調」が1項目、「努力を要する」が2項目となりました。H28では、「順調」が10項目、「概ね順調」が2項目、「努力を要する」が2項目でした。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	重要業績評価指標(KPI)のうち、「地域交通ネットワークについての満足度」や「サテライトオフィス設置支援事業による事業所の立地件数」などが「努力を要する」となりましたが、本分野においては「順調」の評価が最も多くの割合を占める結果※となりました。 「努力を要する」となったKPIについては、引き続き施策の推進により数値の向上を図り、数値目標の達成を目指すとともに、それぞれの地域の実情に対応した暮らしの基盤の構築を図り、活力あるまちの創生に取り組みます。								
	※実績値なし、未公表等を除く。								

(1) 持続可能な経済・生活圏の形成

ア 地域の特徴を生かした経済・生活の拠点の形成

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	
「土地利用」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		－	16.2	－	18.7	20.0	%	
	実績値	13.7	－	17.2					
	進捗区分		実績値なし	順調					
進捗状況の分析	市の特性や、それぞれの地域の特徴を生かした土地利用が図られているため、満足度が上昇していると考えられます。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	市を取り巻く様々な環境の変化を的確に捉え、今後も適切な土地利用を図ります。								

主な成果

● 佐久総合病院再構築に伴う臼田まちづくり

・病院機能の分割再構築を機に、中心市街地においてコンパクトシティを構築することにより、地域コミュニティやまちの

賑わいの再生、再興による持続可能な健康長寿のまちづくりを実施
・臼田地区の地域交流拠点として、佐久市臼田健康活動サポートセンターをH28.10に開館
●佐久市立地適正化計画の策定
・居住地域および医療、福祉、商業等の都市機能の立地の適正化を図るとともに、地域の特徴を生かした個性あふれるまちづくりを推進するため、平成29年3月に佐久市立地適正化計画を策定
●樋橋地区開発のための調査・支援の実施
・土地区画整理準備組合による樋橋地区の土地区画整理事業に対し、技術的・財政的支援を実施
●北中込駅周辺の都市基盤整備の実施
・北中込土地区画整理事業のほか、中込中央区道路整備事業(市道31-2号線、市道3-14号線、原南部線及び北中込駅前広場)を実施

イ 地域交通ネットワークの整備

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「地域交通ネットワーク」についての満足度	目安値		—	34.7	—	34.9	35.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	34.6	—	28.2					
	進捗区分		実績値なし	努力を要する					
進捗状況の分析	道路整備については、高速交通の発展に伴い、インター周辺や幹線道路及び生活道路整備に対する重要度及び要望が高い状況であることから、計画的な整備を実施していく必要があります。 地域公共交通については、高齢化の進行により、公共交通への依存度が高まり、その利便性の向上が求められていることから、ニーズを踏まえた公共交通ネットワークを構築していく必要があります。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	引き続き計画的な道路の維持管理を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、満足度の向上を図ります。								
指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
公共交通延べ利用者数	目安値		107,418	111,814	116,209	120,605	125,000	人/年	
【生活環境課調】	実績値	103,023	104,871	112,079					
	進捗区分		努力を要する	順調					
進捗状況の分析	市内巡回バス運行事業や廃止代替バス運行事業の推進により、H28実績値は、H27より7,208人増加、順調に推移しています。								
今後の方針	引き続きバス運行事業やデマンドタクシー事業の周知・推進により、引き続き利用者数の増加を図ります。								

主な成果
●都市計画道路の整備
・市街地における安心・安全な生活環境の向上を図るため、都市計画道路の整備を実施
＊跡部臼田線 道路新設工事
●地域や施設を結ぶ幹線道路の整備
・幹線道路の整備により、安全・安心でスムーズな交通を確保
＊幹線道路拡幅改良事業
平成27年度実績 2箇所（湯原新田線ほか1箇所）
平成28年度実績 6箇所（創錬の森周辺道路ほか5箇所）
＊東西幹線の整備
＊歩道整備を伴う道路改良事業
平成27年度実績 1箇所（市道2-1号線（岩村田踏切））
平成28年度実績 3箇所（コスモホールアクセス道路ほか2箇所）

●佐久市地域公共交通網形成計画の策定

- ・まちづくりの動きと連携し、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを再構築するため、平成29年3月に佐久市地域公共交通網形成計画を策定

ウ 安心して暮らすことのできる医療・福祉体制の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	
「医療」についての満足度	目安値		—	43.0	—	48.0	50.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	39.4	—	45.8					
	進捗区分		実績値なし	順調					
進捗状況の分析	市民の医療環境を充足するための施策を実施することで、市民満足度の向上が図られました。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	市民の医療ニーズの把握に努めるとともに、地域完結型医療体制の構築を促進します。								
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	
「高齢者福祉・介護保険」についての満足度	目安値		—	30.0	—	33.0	35.0	%	
【満足度・重要度市民アンケート】	実績値	26.1	—	29.9					
	進捗区分		実績値なし	概ね順調					
進捗状況の分析	介護予防事業を実施したことにより、要介護状態になることを防ぎ、また、要介護状態になってもその状態に応じた適正なサービスを提供することにより、高齢者の自立した生活と家族の負担の軽減につながっています。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	今後も引き続き事業を推進することにより、満足度の向上を図ります。								
指標名	年度別 評価	H25 （基準値）	H26	H27	H28	H29	H30 （目標値）	単位	備考
健康寿命の延伸(男性)	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年間で算定
【高齢者福祉課調】	実績値	79.46	(79.89)	80.08	—				
	進捗区分		(順調)	順調	未公表				
進捗状況の分析	「新しい保健」をはじめとした、将来にわたり健康長寿であり続けるための事業を積極的に展開してきたことにより、実績値が順調に延伸していると考えられます。 ※H28実績値は、H30.1月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	引き続き保健予防活動等の事業を実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。								
指標名	年度別 評価	H25 （基準値）	H26	H27	H28	H29	H30 （目標値）	単位	備考
健康寿命の延伸(女性)	目安値		(延伸)	延伸	延伸	延伸	延伸	歳	前後3年間で算定
【高齢者福祉課調】	実績値	83.58	(84.32)	85.12	—				
	進捗区分		(順調)	順調	未公表				
進捗状況の分析	「新しい保健」をはじめとした、将来にわたり健康長寿であり続けるための事業を積極的に展開してきたことにより、実績値が順調に延伸していると考えられます。 ※H28実績値は、H30.1月頃に把握が可能となるため、現時点では「未公表」となります。								
今後の方針	引き続き保健予防活動等の事業を実施することにより、健康寿命の延伸を図ります。								

主な成果

●佐久市立国保浅間総合病院の整備と経営基盤強化

- ・地域の中核病院として充実した医療の提供と住民の満足度の向上を図るため、計画的な整備を実施
 - * 中央棟建設工事の状況
 - 平成27年度実績 <1期工事>栄養科の整備（H27年10月より稼働）
 - 平成28年度実績 <2期工事>手術室、糖尿病センター、医局、講堂等の整備（H29年1月竣工、3月開院）
- ・浅間総合病院の医師の市内への住宅取得経費に対し貸付を実施

平成27年度実績 1件

平成28年度実績 2件

●過疎地における医療供給の安定化

- ・望月地域の中核的医療機関である川西赤十字病院と過疎地域の出張診療所への財政支援により、川西地域における医療供給の安定化を図る。

＊川西赤十字病院への財政支援（川西保健衛生施設組合を介し、運営費、施設費を補助）

＊布施出張診療所開設への財政支援

＊湯沢無医地区出張診療所開設への財政支援

●高齢化に対応した医療療養病床等施設の整備支援

- ・市内の病院が高齢化の進行を踏まえ実施する医療療養病床等施設整備に対し、財政支援により、地域完結型医療体制の構築を促進

＊社会医療法人恵仁会への財政支援（H27～28）

＊医療法人雨宮病院への財政支援（H28）

●老人福祉施設の整備

- ・佐久市特別養護老人ホーム「シルバーランドみつい」「シルバーランドきしの」の老朽化等に伴う施設及び設備の改修を計画的に実施。平成28年度は「シルバーランドみつい」の電話・ナースコールの設備を改修

●佐久総合病院本院施設等整備への補助

- ・地域医療の充実と医療水準の確保を図るため、佐久総合病院本院の建設費に対する財政支援の実施により、地域完結型医療体制の構築を促進

＊佐久総合病院本院施設整備事業への財政支援（H27～28）

●佐久医療センターの救急救命等の医療運営に対する補助

- ・佐久医療圏の地域医療を安定的に確保するため、救命救急及び周産期医療の機能を担う佐久医療センターの運営に対する財政支援を実施することにより、佐久地域における高度・専門医療提供体制を確保

＊佐久医療センター運営への財政支援（佐久広域連合を介して補助）（H28～）

●地域包括ケアシステムの強化

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らし続けることができるよう、地域の自主性に基づき、「住まい」「医療」「介護」「生活支援・介護予防」に係るサービスを包括的に確保することを目指し、支え合いの仕組みづくりを推進

＊平成28年4月より「介護予防・日常生活支援総合事業」を開始。あわせて「地域包括支援センターの運営強化」、「生活支援体制整備事業」、「在宅医療・介護連携推進事業」、「認知症総合支援事業」等を実施

エ 広域的な連携の推進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「広域連携」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	17.9	—	19.3	20.0	%	
	実績値	16.5	—	24.9					
	進捗区分		実績値なし	順調					
進捗状況の分析	H28から運営を開始した佐久平斎場など、広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏では主にソフト事業を中心に連携強化を図るなど市町村連携を強力に進めたため、順調に推移したと考えられます。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要になることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進め、満足度の維持を図ります。								

主な成果

●佐久地域定住自立圏における連携強化

- ・将来にわたり安心して暮らすことができる佐久地域を目指すため、新たに連携して取り組む事項を盛り込んだ「第二次佐久地域定住自立圏共生ビジョン」を平成29年2月に策定。12分野21項目において関係市町村と取組を推進

ICT教育の推進、六次産業化による農業振興、道路等交通インフラの整備

・将来にわたり佐久地域の安全・安定・安心なごみ処理体制を維持するため、佐久市・軽井沢町・立科町・御代田町の1市3町で構成される佐久市・北佐久郡環境施設組合により、平成32年11月末の完成を目指し工事を実施

ア 公共施設等の適正管理と有効活用

主な成果	
●	公共施設等の総合的なマネジメントの推進 ・公共施設等の効率的・効果的な活用を進めるため、施設等の今後のあり方を示す「佐久市公共施設等総合管理計画」を平成29年3月に策定

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況									
指標名	年度別 評価	－ （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	備考
サテライトオフィス設置 支援事業による事業所 の立地件数（計画期間 の累計）	目安値		1	2	3	4	5	件	※再掲
	実績値	－	0	0					
	進捗区分		努力を要する	努力を要する					
【商工振興課調】									
進捗状況の分析	誘致活動を展開しているところですが、企業立地に繋がっていない状況です。								
今後の方針	これまでの企業訪問による誘致活動に加え、企業等の協力を得ながら制度のPR活動を行い誘致を推進します。								
指標名	年度別 評価	H26 （基準値）	H27	H28	H29	H30	H31 （目標値）	単位	備考
空き家バンク登録物件 の契約成立件数	目安値		50	55	60	60	60	件/年	※再掲
	実績値	45	75	70					
	進捗区分		順調	順調					
【観光交流推進課調】									
進捗状況の分析	掲載物件が減少しているため、空き家バンクの成約数が伸び悩んでおり、優良物件の確保が必要です。								
今後の方針	無居住家屋等実態調査結果を踏まえ、利便性の高い優良物件の洗い出しを行い、登録物件の増加を図ります。								

主な成果

●無居住家屋等実態調査の実施

- ・増加する空き家等の対策を推進するため、現地調査及び意向調査を実施
 ＊市内推定空き家数 3,103戸 空き家率 7.6%（H29.5.25 速報値）

（３）住民が地域防災の担い手となる環境の確保

ア ICT等を活用した災害時の情報共有の仕組みの構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位
一斉通報・連絡システムの登録者数	目安値		600	1,200	1,800	2,400	3,000	人
【広報情報課調】	実績値	—	2,190	2,336				
※H27開設	進捗区分		順調	順調				
進捗状況の分析	システム開設時からの積極的な周知により、目安値を上回る登録者を得ることができましたが、平成28年度は微増に留まりました。							
今後の方針	引き続きシステムの周知を行うとともに、特にアプリ登録者の増加促進を図ります。							

主な成果

●佐久市情報配信サービス「さくネット」の運用

- ・防災・気象情報、防犯情報等の市民が希望する情報を、固定電話、携帯電話、パソコンメール、携帯メール、FAXの中から、受信者が希望する媒体で、一斉配信を行う。(平成27年度から開始)

イ 自主的な防災・消防活動への支援

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

[illegible]

主な成果

●地域における減災・防災に係る取組の促進

- ＊防災訓練を実施した自主防災組織数
平成27年度実績 155組織
平成28年度実績 158組織

●消防団員の確保

・イベントにおける募集チラシの配布等の呼びかけにより、地域の防災力確保の要である消防団員の確保を推進

* 消防団員実員数

平成27年度実績 1,806人

平成28年度実績 1,810人

●消防団の装備品の充実

・「消防団の装備の基準(H26.2.7改正)」に基づき、安全装備品や救助活動用資機材等の配備を充実し、災害時における消防団の対応力を強化

* 配備実績

平成27・28年度実績 救助用半長靴、耐切創製手袋、背負式消火水囊、チェーンソー、防塵メガネ、防塵マスク
(平成27年度～29年度の3ヵ年で全分団及び全団員に配備を実施)

●消防団施設の整備

・老朽化した小型動力ポンプ付積載車等の配備を計画的に実施

* 整備実績

平成27年度実績 小型動力ポンプ付積載車 2台(臼田中央、湯原)

小型動力ポンプ 5台(本町・西本町、竹田・糠尾、三家、上ノ城、下越)

平成28年度実績 小型動力ポンプ付積載車 3台(長土呂、臼田住吉、堀端)

小型動力ポンプ 5台(黒田、牧布施、向反、天神、大谷地)

(4) ふるさとづくりの推進

ア ふるさとと世界を知る子どもの育成

重要業績評価指標(KPI)の進捗状況

指標名	年度別 評価	— (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
青少年育成活動件数 (計画期間の累計)	目安値		5,500	11,000	16,500	22,000	27,500	件	
	実績値	—	5,372	10,398					
	進捗区分		概ね順調	概ね順調					
※H26実績: 5,306件/年									
進捗状況の分析	平成27年度及び平成28年度の実績値は概ね順調に推移していますが、児童数の減少などにより、平成28年度の進捗率は前年度比で約6.5%減少しています。								
今後の方針	目標値の達成に向け、地区における青少年健全育成活動について更なる活発化を図るため、育成推進員研修会の開催及び補助金の周知など積極的に支援を行います。								

主な成果

●地区育成活動の推進

・地域の特性を生かした地域ぐるみの青少年健全育成事業を実施している各地区育成会に対し、補助金を交付

* 地域体験活動補助金

平成27年度実績 126件

平成28年度実績 138件

●学校給食応援団～地産地消と食育を推進～

・農作物が地元農家から直接学校給食に提供される体制を整備。浅科、望月(H26.4～)に加え、臼田(H27.6～)、佐久(H28.7～)を新たに追加

●青少年の人材育成のための国際交流の実施

・佐久市内の中学生を対象とした海外研修や、友好都市の子どもたちの受入を実施

* 中学生海外研修

平成27年度実績 アメリカ合衆国 7名 モンゴル国 6名

平成28年度実績 アメリカ合衆国 8名 モンゴル国 8名

＊子ども交流研修 受入実績

平成28年度実績 エストニア共和国サク市から7名

イ 生涯学習環境の整備と活動の促進

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況

指標名	年度別 評価	H26 (基準値)	H27	H28	H29	H30	H31 (目標値)	単位	
「生涯学習」についての 満足度 【満足度・重要度市民アンケート】	目安値		—	32.7	—	35.0	36.0	%	
	実績値	30.3	—	35.4					
	進捗区分		実績値なし	順調					
進捗状況の分析	様々な年代に対応した学習機会を提供しており、目標値に近い数値となっています。 ※H27実績値は、満足度・重要度市民アンケートが隔年実施のため、「実績値なし」となります。								
今後の方針	時間に余裕のある世代だけでなく、仕事等で忙しい若い世代も取り込めるような事業を推進します。								

主な成果

●高齢者大学・大学院の開催

・65歳以上の方が生きがいを見つけたり、仲間づくりができる機会を提供

＊活動の状況

《高齢者大学》平成27年度実績 18回開催 延参加者数 3,222人

平成28年度実績 18回開催 延参加者数 2,722人

《高齢者大学大学院》平成27年度実績 13回開催 延参加者数 299人

平成28年度実績 12回開催 延参加者数 226人

●佐久市文化振興基金の運用益による文化振興事業の実施

・文化振興基金の運用益を活用した「キッズ・サーキット」を開催し、若い親子世代が楽しみながら学べる機会を提供

＊平成28年度実績 H28.8.5～8.7(3日間) 22演目 延来場者数 4,879人

●図書館サービスの充実と読書活動の推進

＊読書通帳の延発行数

平成27年度実績 1,285冊

平成28年度実績 1,191冊

＊「ちいさい子のおはなし会」の充実

平成28年度より、浅科・望月において隔月開催

＊インターネット予約サービスの開始(H27.11～)

平成28年度末までの登録者数 476名

＊移動図書館(草笛号)ステーションの増設

臼田(入澤)と望月(中居)の2か所を増設(H28.1～)

平成28年度 地方創生関係交付金事業の実施結果

(1) 地方創生加速化交付金(10/10)活用事業

ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCCRC事業の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
		H28	単位		単位	
移住促進センターにおける佐久市への移住に関する相談件数	目安値	200	件			
	実績値	155				
	進捗区分	努力を要する				
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
		H28	単位	H30	単位	
移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住（希望）者数	目安値	15	世帯	40	世帯	
	実績値	22				
	進捗区分	順調				
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
			単位	H30	単位	
サ高住等における新たな雇用者数	目安値			15	人	サ高住はH31開所予定
	実績値					
	進捗区分					
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
			単位	H30	単位	
公共施設の活用件数	目安値			1	件	サ高住はH31開所予定
	実績値					
	進捗区分					
進捗状況の分析	佐久市に深く関心を持ち、実際に移住を検討・希望している人が想定よりも多い状況でした。					
今後の方針	相談件数が目安値に届いていないことから、佐久市を移住先として広く周知するような施策を推進します。					

イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業 ～"SAKU Health-care model"の構築・展開を目指して～

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況						
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
新「健康長寿」プログラムに基づく視察研修の受入人数		H28	単位	H32	単位	
	目安値	150	人/年	200	人/年	H26:111人/年
	実績値	86				
	進捗区分	努力を要する				
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
新「健康長寿」プログラムと連携する国内企業数		H28	単位	H32	単位	
	目安値	5	社/年	50	社/年	H26:0社/年
	実績値	0				
	進捗区分	努力を要する				
指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
健康長寿を生かした産業振興についての計画策定		H28	単位		単位	
	目安値	1	件			H26:0計画
	実績値	1				
	進捗区分	順調				

指標名	年度別 評価	当該交付金活用事業終了時点		数年後		備考
ヘルスケア関連産業に おける新製品、新技術 の開発件数			単位	H32	単位	H26:0件
	目安値			15	件	
	実績値					
	進捗区分					
進捗状況の分析	平成28年度に佐久市健康長寿産業振興ビジョンを策定し、ヘルスケア関連産業等の創出・拡大に努めているところですが、新製品開発が2件あり、「健康長寿」という強みや市の取組が市内企業等にもある程度浸透しているものと考えられます。					
今後の方針	平成30年度に産業支援機関を立ち上げ、新製品・新技術の開発等を支援することにより、ヘルスケア関連産業における新製品や新技術の開発件数の増加に努めます。					

平成28年度 地方創生関係交付金事業の実施結果

(2) 地方創生推進交付金(1/2)活用事業

ア 交流と協働で織りなす夢をかなえるまちコンパクトシティ臼田とCCRC事業の構築

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況							
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
移住促進センターにおける相談者のうち佐久市への移住者数	目安値		200	200	40	件	・平成30年度中の住まい整備が完了するまで(平成28～29年度)は、移住相談件数を目標値として設定 ・平成30年度は移住者数(サ高住への入居決定者数)を目標値として設定
	実績値	0	155				
	進捗区分		努力を要する				
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
サ高住等における新たな雇用者数	目安値		0	0	15	世帯	サ高住は平成31年度開所予定
	実績値	0	0				
	進捗区分		実績値なし				
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30 (目標値)	単位	備考
公共施設の活用件数	目安値		0	0	1	人	サ高住は平成31年度開所予定
	実績値	0	0				
	進捗区分		実績値なし				
進捗状況の分析	移住促進センターそのものの宣伝、同センター内での佐久市のPRが不足していたと考えられます。						
今後の方針	相談件数が目安値に届いていないことから、佐久市を移住先として広く周知するような施策を推進します。						

イ ジャパンブランド「健康長寿」推進事業 ～"SAKU Health-care model"の構築・展開を目指して～

重要業績評価指標（KPI）の進捗状況								
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標値)	単位
保健医療のシステムやヘルスケア関連機器等の海外輸出につながった件数	目安値		0	2	4	7	10	件
	実績値	0	0					
	進捗区分		実績値なし					
指標名	年度別 評価	H27 (基準値)	H28	H29	H30	H31	H32 (目標値)	単位
「健康長寿」に関連した新たな事業(創業、新規事業、新製品・新技術の開発、新規立地等)創出件数	目安値		0	2	5	10	20	件
	実績値	0	3					
	進捗区分		順調					
進捗状況の分析	平成28年度に佐久市健康長寿産業振興ビジョン及び佐久市健康長寿まちづくり計画を策定し、ヘルスケア関連産業や「健康長寿」を生かした新たな事業等の創出・拡大に努めているところです。新たに海外輸出へつながった事例はまだありませんが、創業が1件、新製品開発が2件あり、「健康長寿」という強みや市の取組が市内企業等にもある程度浸透しているものと考えられます。							
今後の方針	平成30年度に産業支援機関を立ち上げ、新製品・新技術の開発、販路拡大等を支援することにより、ヘルスケア関連機器等の海外輸出及び「健康長寿」に関連した新たな事業創出件数の増加に努めます。							

